

北九州市文化振興計画（改訂）の全体概要

★計画の位置づけ：本市の文化芸術の振興に関する基本計画 ★計画期間：平成28年度～32年度（5年間）

第1部 総論

基本理念

「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」

北九州市は、ものづくりのまちとして発展する中で、大陸や首都圏などから人や情報が流れ込み、地域の文化と交わる「文化の先進地」として栄えました。また、企業集積地という地域の特色から、「会社」での社員の活動を軸にした文化活動が広がりを見せ、本市の文化芸術の発展を支えてきました。このような誇るべき歴史や伝統、文化を、次代を担う子どもたちに引き継いでいきます。そして、市民が文化芸術に気軽に触れ、鑑賞し、楽しむ機会を増やすとともに、郷土を愛する心を育み、自発的に文化芸術活動に参加していただくなど、市民が中心となり、本市の魅力をより向上させていくための取組みを進めていきます。

4つの戦略

戦略1 北九州市らしさや特長をさらに強化し、市民のシビックプライドを醸成する

戦略2 次代の担い手を育て、新たな文化芸術の創造につなげる

戦略3 文化芸術を生かした、ひとづくり、まちづくり、にぎわいづくりに取り組む

戦略4 本市の文化芸術の魅力を国内外に、積極的に発信する

第2部 「元気発進！北九州」プランにおける主要施策に基づく取組み

施策1 市民の文化芸術活動の促進

- (1) 市民が行う文化芸術活動への支援・協働
 - 新各文化団体間の連携、協力のあり方の検討【戦略1】
 - 新高齢者や子どもなどの市民の創作活動の支援の検討【戦略2】
- (2) 文化芸術に関わる表彰
- (3) 文化施設の充実及び活用
- (4) 文化施設の維持管理と今後のあり方

施策2 市民が文化芸術に接する機会の拡大

- (1) 文化芸術を提供する事業の実施・支援
- (2) 広報のあり方、リピーターやファン等の獲得
 - 情報の集約・一元化による効率的・効果的な発信【戦略4】
- (3) 県や近隣自治体との広域連携
 - 近隣自治体の文化施設（資源）と連携強化や情報発信の推進【戦略4】

施策3 発信力の高い文化芸術の振興

- (1) 劇場文化の創造
- (2) 「文学の街」への施策の推進
 - ①文学館や松本清張記念館での取組み
 - ②児童文学の顕彰/新児童文学についての顕彰方法を含めた調査・研究【戦略1】
 - ③偉人・先人の顕彰
 - 新高校生・大学生と連携した文学の街・北九州の発信【戦略2】
 - 新文学館・清張記念館などの文化施設や文学に関する史跡・催しをつなげる仕組みづくり【戦略3】
- (3) 「合唱の街」など音楽文化の振興
 - 新多くの市民が、合唱する側、聞いて楽しむ側として参加する「合唱の街・北九州」の推進【戦略1】
 - 新ピアノや吹奏楽等の演奏からしばらく遠ざかっている世代が、再度、楽器に触れるようなしなかけづくり【戦略1】
- (4) 漫画や「映画の街」への施策の実施・支援
 - ①漫画文化の情報発信
 - 新漫画等表彰制度の創設の検討【戦略1】/新漫画等の国内外に向けた情報発信【戦略4】
 - ②「映画の街」への取組み
- (5) 自然史・歴史施策の充実
- (6) 美術文化の振興
 - 新美術館のリニューアル【戦略1】

施策4 文化芸術の担い手の育成

- (1) 人材育成に係る事業の実施
 - 若者や子どもたちを主な対象とした優れた芸術との“出会い”の場、機会（アウトリーチ等）を創造【戦略2】
 - 子どもたちが身近に伝統文化や文化芸術にふれる機会を充実するため教育委員会とのさらなる連携【戦略2】
- (2) 文化芸術の専門家を目指す人材の育成
 - 新企画・立案・調整や創作活動を支える専門人材（プロデューサー・コーディネーター）の地元での育成・活用【戦略2】
 - 各文化施設の学芸員を集めた研修・交流会の実施【戦略2】
- (3) ボランティアの育成
 - 各文化施設のボランティアの連携【戦略3】

施策5 地域における伝統文化の発掘・継承

- (1) 「戸畑祇園大山笠行事」のユネスコ無形文化遺産への登録
 - 新国や地元の関係団体、他自治体などと連携した「ユネスコ無形文化遺産」登録の推進、PR【戦略4】
- (2) 伝統文化の保存・継承
 - 新小倉祇園太鼓の調査等による記録作成【戦略1】
- (3) 伝統文化の公開

施策6 近代化遺産など文化財の保存・継承

- (1) ユネスコ世界文化遺産
 - 新たに世界遺産となった「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の積極的な広報展開【戦略4】
- (2) 文化財の保護、適切な管理
- (3) 文化財の積極的な情報発信・活用
 - 森鷗外旧居などの文化財公開施設を活用したにぎわいの創出【戦略3】

施策7 文化芸術によるまちづくり

- (1) まちのにぎわいづくり
 - 海外における映画、TVドラマ誘致の強化【戦略1】
- (2) 2020年東京大会に向けた文化プログラムの検討
- (3) 創造都市への取組み
 - 新文学館・清張記念館などの文化施設や文学に関する史跡・催しをつなげる仕組みづくり(再掲)【戦略3】
- (4) 文化芸術で推進するこの街の方向性
 - 新(仮称)アーツディレクターを中心とした協議の場づくりの検討【戦略2】

第3部 主要拠点施設における取組み

文学の拠点

- ・文学館
- ・松本清張記念館
- ・図書館

音楽の拠点

- ・響ホール
- ・北九州ソレイユホール

美術の拠点

- ・美術館
- ・門司港美術工芸研究所
- ・現代美術センター・CCA 北九州

舞台芸術の拠点

- ・北九州芸術劇場

メディア芸術の拠点

- ・漫画ミュージアム
- ・松永文庫

自然史や歴史、地域文化の拠点

- ・自然史・歴史博物館
- ・埋蔵文化財センター
- ・長崎街道木屋瀬宿記念館